

# 国 語 問 題

## 注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. この問題冊子は 25 ページです。落丁、乱丁、印刷不鮮明などの箇所がある場合には申し出てください。
3. 問題冊子および国語解答用紙（マークシート）と国語記述解答用紙が配布された後、各解答用紙の所定欄に座席番号・氏名・フリガナを正確に記入し、国語解答用紙の座席番号欄には座席番号を正しくマークしてください。
4. 解答は必ず国語解答用紙の指定された箇所に正しくマークし、記述式問題の解答は国語記述解答用紙に記述してください。マーク箇所を誤った解答は無効です。
5. マーク解答欄記入上の注意

- (1) 解答は指定された解答欄にマークし、その他の部分には何も書かないでください。例えば、

20
----

 と表示のある問いに対して、③と解答する場合には、次の例のように**解答番号 20**の**解答欄**の③にマークしてください。

例

良い例	悪い例
	

解答 番号	解 答 欄														
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
20	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- (2) 複数の解答がある場合も、同じ解答欄にマークしてください。ただし、指示された解答数より多くマークした場合は、その解答はすべて不正解となります。
  - (3) 解答用紙へのマークはすべて HB のシャープペンシルまたは鉛筆で行い、訂正する場合にはプラスチック製消しゴムで丁寧によく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。
  - (4) 解答用紙は絶対に汚さないでください。また折り曲げたり破ったりしないでください。
  - (5) 解答欄の所定欄以外の余白部分は、何も記入しないでください。記入したり、汚したりすると解答用紙読み取り時の誤読の原因となり、採点できない場合があります。
6. 国語記述解答用紙については、注意事項をよく読み、指定された設問について解答しなさい。
  7. 試験時間中に退場することはできません。
  8. 問題冊子は必ず持ち帰ってください。
  9. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。

I 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

風景も道も、古いものは幾世紀も続く歴史のオーラとでもいうべきものをたたえて、わたしたちを魅了する。「無性格な」新品より、アンティークの方が価値があるのだ。

だが、いったいなぜそうなのだろうか。過去の面影を残す風景や、由緒ある建物、歳月の重みをたたえてあじわいある骨董品こっとう、そうした「古いもの」はなぜ新しいものより価値があるのか？ いったいその価値の根拠は何なのか？

この問いは、もはや贅沢論ぜいたくのフィールドを超えた哲学的な問いである。価値論でもあり、存在論でもある。だが、答えはおろか、その問いそのものが滅多に存在しない。骨董論は多々あるが、その「価値論」は存在していないのではなからうか。かねてから疑問に思っていたので、さまざまな文献にあたったが、一冊の書物が真つ向からこの問いに答えていた。今村仁司\*1の遺著『社会性の哲学』である。ヘーゲル\*2をベースにしたこの難解(ア)でチョウダイ(ア)な書物を紹介するのはわたしの力にあまるが、「歴史的世界」を論ずる篇へんの第一章に、「古いもの」または伝統への欲望」と小見出しを付された一節がある。そこで今村仁司は、役に立たなくなった屑くずのような古物を愛した思想家ベンヤミン\*3や、幸田露伴\*4の骨董論などを例にとって次のように述べている。

骨董論は古さと伝統の存在理由を理解するのに役立つ。古いもの（過去性、歴史性）への執着こそ、露伴によれば、人間を人間的にするのであった。人間は一般に「現在あるがままにある」ことだけでけっして満足しない。現在の存在が歴史性によって支持されてはじめて満足する。人は自分が古さによって認知されることを欲する。(……) 人は自己に関わるすべての事柄に関して、その歴史的由来を他者たちと競り合う。

この人間的欲望を「物」に投影すれば、「骨董の世界」が理解できる。骨董もその来歴によって大きく価値に差がつくからだ。小物であれ、家具であれ、古いものは古いほど「ありがたみ」を増すのである。だから新品(1)より骨董が贅沢なのだ。だが、今村仁司はまたこうも言う、「他方、古さや伝統の観念は、神話的なもの、聖なるもののほうにも向かう」と。アルカイックな社会では「聖なるもの」——神話、土地の名、氏族の

名、総じて祖先伝来の古いもの——を自己のアイデンティティの根拠とする」。

わたしたちが、街並みでも自然でも、「歴史のある風景」を愛するのは、むしろこの「聖なるもの」を無意識に求めているからなのだろう。わたしたちはそこに、卑小な自分を越えた何かを感じ、イケイの念をもってその風景に接するのである。そのイケイの念が最も鮮明になるのは、たとえば「樹」ではないだろうか。樹齢を重ねた大木をみるとき、わたしたちはその威厳ある姿にうたれずにはいない。

そのときわたしたちは、タイムもマネーも届かない「はるかなもの」を感じ取っているのである。

(中略)

忙しいわたしたちのビジネス社会から失われて久しいもの、それは「はるけさ」である。遠い昔にキゲン<sup>(ウ)</sup>をもち、悠久の時を経て現在に運ばれてくる、そんなゆったりした時の流れこそ「贅沢の条件」なのだが、情報社会を刻むタイムはそんな悠長な時間ではない。機械生産の世界を刻む時は、あの「塩何グラム」という誰にでもわかる機械的時間である。

<sup>\*7</sup> マエストロや職人たちの手仕事の時代が終わって機械生産が到来したとき、終わってしまったのは職人生産だけではなかった。かれらの「手仕事」と共にあった「手仕事的时间」もまたいつの間にか失われてしまったのである——そう語るのはベンヤミンである。ベンヤミンは、「手仕事」は「物語」と密接に結びついていると言う。手仕事をするゆるい時間の流れは、物語を語り、その語りに耳をかたむける時間にびったりと呼応していたのである。

それらの物語を語る語り手は、「定住する農民」と「交易を営む船乗り」であった。一方は、はるかな祖先から伝えられた物語を口伝えに語りつぎ、他方は、遠いところで起こった事件を人びとに語って聞かせる。「中世の職人組織」は、これら二つの「語り手」たちを交わせ、相互浸透させていった。「定住する親方<sup>マイスター</sup>と遍歴する徒弟<sup>オ</sup>とが、同じ部屋のなかでいっしょに仕事をしていた」からである。その部屋のなかで、遠い異郷の出来事の報告と、遠い過去からの伝承とが物語られたのである。

彼らが語る物語には、権威があった。一方にあるのは、「古さ」の権威、今村仁司が言うあの「歴史的由来」の権威である。また他方にあるのは、はるかな見知らぬ土地で起きた出来事という距離的な「はるけさ」の権威。「いま・ここ」で手仕事をする農家の人びとや職人たちは、それらの物語に耳をかしながらその権威を信じ、そこから教訓的な「知恵」を学んでいたのである。

ビジネス社会の到来とともに、物語はすたれゆき、代わって登場するのは「情報」である。教会の鐘の音とデジタル時計のタイム表示が全くち

がうように、物語と情報も何から何まで逆の性質をそなえている。

まず、情報は瞬時に遠くの出来事を伝える。ニュースは「はるけさ」を奪うのである。遠い過去の出来事も、メディアに取りあげられて番組化されると、「はるけさ」を失って、視聴者に「身近な」出来事になってしまう。メディアの情報は、すべてをわたしたちの「近く」に運んでくるのである。メディア社会とは「近さ」の専制にほかならない。手や耳や目といったわたしたちの身体状態とかかわりなく、スイッチ一つでわたしたちはすべてのものを「近く」にひきよせてしまう。ケータイ電話は、この「近さの専制」の完成だといってもいいだろう。

それらの情報メディアの特性は「近さ」と「親近感」である。ちょうど、物語というメディアの特性が「遠さ」であり、「権威」であったのと対照的に。<sup>(2)</sup> 物語はあらゆる意味で近づきたい「はるけさ」と一つのものだったのだ。

こうして、ビジネス社会の到来とともに、「はるかなもの」は手仕事や職人仕事ともども社会の表舞台から消えてゆく。要するにわたしたちは、手仕事に照応していた「贅沢な時間」を失ったのである。マエストロの仕事が「贅沢」であり、手で編んだ糸に「いのちある美」が宿っていたように、物語に耳をかたむけるゆったりした時間もまた「贅沢の条件」そのものだったのだ。

メディアのあたえる情報と物語のもう一つのちがいは、前者がわたしたちの身体的経験を養わないということである。テレビやインターネットをとおしてわたしたちは全世界のニュースを瞬時に知ることができるが、その知識は、わたしたちにかなる経験的な知恵もあたえてはくれない。だから、知恵を得なければマニュアルに頼らざるをえないのであって、そのマニユアルが贅沢からほど遠いものであることはすでに述べた。<sup>(3)</sup> ところが、物語は、わたしたちの経験を養い、知恵を授ける。それはじっと耳をすまして聴くわたしたちの身体のどこか深いところで記憶されて、教育的な知恵を培ってくれるのである。

そのような手仕事の―物語的時間に必要なのはただ一つ、わたしたちを追いたてる「タイム」と「マナー」のあのあわただしい時間から抜け出る時間をもつことである。ベンヤミンはこの時間を「退屈」<sup>(4)</sup>な時間と呼ぶ。ドイツ語で「退屈」とはランゲバイレ、「長い時」である。その「長い時」こそ、まさに贅沢の条件なのである。ベンヤミンは言う。

身体的にリラックスした状態の頂点が眠りだとすれば、精神的なそれは退屈である。退屈とは、経験という卵をかえす夢の鳥だ。<sup>(5)</sup> 森の葉ずれのザワザワ鳴る音はこの鳥を追いかう。この鳥の巣は――それは退屈と親密に結びあうて作られるものだが――都市ではすでに姿を消してし

まったく、田舎でも減少しつつある。それとともに、耳を傾ける能力も失われ、耳を傾けて熱心に聞き入る人びとの共同体も消えていく。

（『物語作者』）

ベンヤミンがこのエッセイを書いたのは一九三六年。すでにそれから百年足らず、いまや共同体などどこにもなく、物語はすべて情報にとつて代わられている。そして、それ以上に失われつくしたものは「退屈」な時間である。なぜならメディアは退屈な時間を貪り食うからだ。すべてをわたしたちの「近く」にひきよせて「はるけさ」を奪う情報は、「退屈」を——贅沢の条件を——餌食にするのである。

退屈という夢の鳥。マナーとタイムの刻むビジネス社会の時を一瞬とめて、「退屈な時」へとドロップアウトすること——ふと、風の音に耳を澄ます、空の明るさに春を感じる、見上げた夜空にかかる銀の月にしばし見とれる……「夢の鳥」は、求めさえすれば、求める者のところへ思いのほかたやすくやって来るのではないだろうか。

そうしてわたしたちが時をとめる術を手にして、「退屈」な時をもつとき、夢の鳥は、金では買えない贅沢な経験をあたえてくれるにちがいない。そう、贅沢とはやはり閑暇(6)なのであって、ひとえにそれは、わたしたちひとりひとりがいかにして「時をとめる術」を手にするかにかかっている。

（山田登世子『贅沢の条件』より）

\*注1 今村仁司 (1942-2007) 日本の現代哲学・思想研究者

2 ヘーゲル ゲオルク・ヴィルヘルム・フリードリヒ・ヘーゲル (1770-1831)。ドイツの哲学者

3 ベンヤミン ヴァルター・ベンヤミン (1892-1940)。ドイツの文芸批評家、思想家、社会批評家

4 幸田露伴 (1867-1947) 日本の小説家で、代表作は『五重塔』

5 アルカイック 古風で素朴なさま

6 アイデンティティ 「同一性」を意味する。この「同一性」には、「Aは何者なのか」という意味での同一性と、「AとBは同じだ」という意味での同一性がある。ここでは、前者

7 マエストロ 芸術家、専門家に対する敬称・称号だが、ここでは、そのような称号を持ち、住み込みの弟子を育てる親方  
8 徒弟 親方の家に住みこんで商工業の技術を見習う年少者

問一 傍線部(ア)・(イ)・(ウ)のカタカナは漢字でどう書くか。解答例にならない、それぞれ①～⑩の中から正しい組み合わせとなる漢字を二つ選び、同一解答欄にその番号を両方ともマークしなさい。

(ア)

(イ)

(ウ)

(解答例) トクテイ

- ① 得
- ② 徳
- ③ 特
- ④ 匿
- ⑤ 督
- ⑥ 帝
- ⑦ 定
- ⑧ 底
- ⑨ 訂
- ⑩ 呈

答 ③ ⑦

(ア) チヨウダイ

- ① 超
- ② 頂
- ③ 兆
- ④ 長
- ⑤ 徴
- ⑥ 代
- ⑦ 題
- ⑧ 大
- ⑨ 戴
- ⑩ 台

(イ) イケイ

- ① 意
- ② 異
- ③ 畏
- ④ 威
- ⑤ 医
- ⑥ 形
- ⑦ 徑
- ⑧ 啓
- ⑨ 敬
- ⑩ 系

(ウ) キゲン

- ① 紀
- ② 起
- ③ 機
- ④ 期
- ⑤ 危
- ⑥ 源
- ⑦ 嫌
- ⑧ 元
- ⑨ 限
- ⑩ 言

問二 傍線部(a)の本文中の意味として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

4

(a) 由緒ある

- ① 歴史に応じた雰囲気を備える
- ② 他にも同じようなものが存在する
- ③ 現在に至るまでの長い歴史を持つ
- ④ 唯一無二の価値を持っている
- ⑤ わけあってそこに存在し続けてきた

問三 傍線部(1)「新品より骨董が贅沢なのだ」とあるが、それはなぜか。その理由として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

5

- ① 骨董は時間とともに残存する数が減少し希少価値が付加されていくから
- ② 骨董は長い時間を経る中で独特のあじわいを備えるに至っているから
- ③ 骨董は一般的に高価なのでコレクションを揃えるのが難しいから
- ④ 骨董はそれが経てきた豊かな歴史をその背景に持っているから



問四 傍線部(2)「物語はあらゆる意味で近づきがたい」「はるけさ」と一つのものだったのだ」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

6

- ① 物語は、遠い昔のことや遠く離れた異国のことを語って、この世界の時間的・空間的な広がりをも提示することにより、歴史の持つ権威や様々な土地の神秘にあこがれを抱かせるものであったということ
- ② 物語は、遠い昔から綿々として続く歴史や遠い彼方の到達困難な土地のことを語ることによって、権威あるもの、神聖なものとして、人々に経験的な知恵を授けてくれるものであったということ
- ③ 物語は、定住する者が語り続ける深遠な歴史と遍歴する者が語る遠く離れた未知の土地の話とが出会うことから生まれ、様々なものを生み出す豊かさや余裕とを提供するものであったということ
- ④ 物語は、一般人の知りえない歴史や神秘的な土地の様子を語るということにより、それが語られる場に大きな権威と神聖さを付与し、そこで生まれるものに「いのちある美」をもたらしものであったということ

問五 傍線部(3)「マニュアルが贅沢からほど遠いものであることはすでに述べた」とあるが、問題文の中にはそれが述べられている箇所はない。そこで、問題文から判断して、「マニュアルが贅沢からほど遠いものである」とはどういうことと考えられるか。その内容として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

7

- ① マニュアルは、いつでも即座に必要な知識を提供してくれるが、その知識は画一的で決まりきった結果しか与えてくれない。
- ② マニュアルは、師弟関係や雇用関係などの人間関係によって与えられるが、一旦手に入れば必要な時に必要な知識を与えてくれる。
- ③ マニュアルは、師弟関係の足りない部分を補ってくれるものだが、その分、師弟の間で醸成される濃密な関係性を失わせてしまう。
- ④ マニュアルは、指導料などの費用や長期の修練を要することなく、必要な知識を提供し、確実な成果をもたらしてくれる。

問六 傍線部(4)などに現れる「退屈」という語は、本文中でどのような意味で使われているか。その意味として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

8

- ① 何もすることがなくてつまらない状態
- ② 時間と金に追われない余裕のある状態
- ③ 何かしたくてうずうずしている状態
- ④ 眠りのように心身を休めている状態

問七 傍線部(5)「森の葉ずれのザワザワ鳴る音」とは何を意味するか。その指し示すものとして最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

9

- ① 物語
- ② 権威
- ③ 情報
- ④ 自然



## Ⅱ 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

「医学部に入った、その後の夢って何なの」

「サッカー」

ベッドの中で彼が答えた時、私は瞬きするのでも忘れて雄大を見つめ返した。声の続きがあと一拍遅れたら「は？」と聞き返していたかもしれない。だけど、雄大の顔は大真面目だった。

「俺、医学部に入れたら、真剣に日本代表目指したいんだよね。俺、今は何をやっててもちよつと気を抜くと、医学部のこととか、将来への不安で身体が緊張してくるんだけど、サッカーだけは別なんだ。サッカーしてる時だけが、心から楽しい。だけど、スポーツ選手ってやっぱり寿命が短いから、その後は医者に専念する。——日本代表になれば、これまで彼女を作ったりもせず、勉強とサッカーに打ち込んできたことを人に話すつもりだったんだよね。優勝カップにキスして『この時までファーストキスを取っておきました』って、言うつもりだったんだ」

彼の微笑みは、こんな時でも観面に美しく利いた。

「俺、そんな変な顔してないしさ。キスを取っておきましたって言うても、モテなかったからだとは思われないと思うんだよね。——さつき、二本さんとしちゃったけど」

「サッカーは、今もやってるの？」

「うん、大学の体育で」

選択授業の体育は週に一回きりだ。私はほとんど絶句しながら、さつき繋がったばかりの彼がまた急に遠くなったのを感じていた。海に漂っているのを引き寄せたら、いつの間にか今度は相手が空を浮遊していたような、<sup>(1)</sup>とらえどころのない気持ちだった。

こみ上げてきたのは苛立ちだった。

何故、私も一緒になって酔うことができる範囲の夢にとどまってくれないのか。<sup>(2)</sup>「バカみたいに大きい」と語った夢が、本当にバカみたいだなんてひどい。

「医者になるっていうのは、経済的にも豊かになることが保証されるわけだし、自分がやりたいことの基盤を手に入れるためのステップでもある

と俺は思うんだよね」

雄大の口調が甘く、まさに夢見るように変化していく。夢というのはある種のシンクウなのかもしれない。彼の穏やかで曇りのない表情を見て、そう思う。

「たとえば、二木さんが描きたいって言うてる絵本だって、医者になってさえいけば、年取ってから描くこともできるでしょ？　そういうのを全部手に入れるための人生の選択としての医者なんだ」

「絵本、描きたいの？」

(3) 自分の夢を軽んじられたような気がして尋ね返すと、彼が微笑んだ。

「本を書くとしたら、小説とか、長い文章の方がいいけど、やってみたいことの一つではあるね」

医者を目指す者としての頭でっかちな正義感や薄っぺらい倫理観を語られるよりはよほどいいのかもしれない。——私はそう、思ったかった。経済的な基盤、という一言が、お金にならないであろう夢を見る私の頬を思いがけず強く張った。

大学内を見回せば、どこもかしこもカップルだらけだった。私たちは、大学二年だった。学科で知り合い、サークルで知り合い、友人同士の紹介で知り合い、皆が学生らしい楽しみに興じている。寂しさがなかったと言えば、嘘だ。私と雄大は、ともに自分にわかる言葉だけを頑なに話し続け、周囲の言葉をまるで理解しようとしな<sup>(1)</sup>いイホウ人同士で、心細いから、寄り添い合った。

付き合い始めてしばらくして、雄大は親に医学部受験のための休学を申し出た。彼の両親は戸惑い、とりあえず工学部を卒業してはどうかと、雄大を説得した。

「芹葉大の今の研究室を出ても、就職先なんてたかが知れてると思うけど」<sup>(b)</sup>

深夜、私の部屋で雄大が両親に向けて洩らす電話の内容は、同じ研究室に身を置く者として、時に胃がきゅっと痛むような思いがした。

私もまた、目処が立たないイラストの仕事に気持ちが滅入<sup>(c)</sup>っていた。結果が出ない出版社への持ち込みや、賞へのトウコウをそれでもやめずにいられたのは、雄大のおかげだと思う。夢を持っている、というただ一点において彼の特別に位置づけられた私には、続けるよりほかに彼の彼女でいる資格がなかった。バカにされたくなかった。

休学をやめ、研究室に残るかどうか。両親に説得されても、雄大はしばらく迷っていた。すると、意外なことが起こった。彼が、「だって、未<sup>(d)</sup>

玖に会えなくなるのは寂しい」と私を抱きしめたのだ。

とても、嬉しかった。

私の存在がすべてだったとは思わないが、彼は私と一緒に芹葉大学を卒業することを決め、私たちは多くの下宿生同士のカップルがそうであるように互いの家に入り浸るようになった。

雄大は、清潔な自分の世界しか知らない。私を喜ばせる言葉と傷つける言葉の両方を、無意識によく口にした。

学科のテスト明け、久しぶりに絵本を描いてみた時のこと。読んで欲しい、と雄大に渡すと、彼が困ったように身を引いた。

「置いておけば読むけど、すぐには読めないと思う。前に見せてもらった時、俺、未玖の文章に稚拙な感じを受けたんだ。そこから、読み進められなくて。傷つけたらごめん」

気遣うように私の腕に手を置き、背中を撫でる。彼の体温を感じる部分から順に身体が冷えていく。

「稚拙？」

「だけど、内容がどうってことじゃなくて夢に向かって頑張ってる姿勢は尊敬してる。すごくいいと思うから、応援してるよ。俺がダメだっただけで、絵本を読む人たちは未玖みたいな方がいいと思うかもしれないし、ほら、俺ってテレビだってつまらないって言ってほとんど観てないけど、世の中の他の人たちは夢中になって観るわけだから」

(5) 彼の言う世の中は、平凡とか俗物であるとか、そういう種類の「世の中」だ。言葉が継げなくなってしまう私に「ごめんね」と微笑んだ。

「俺、よく親や姉さんからサラリーマンには絶対に向かない性格してるよねって言われるんだ。嘘やお世辞が絶対に言えないから」

この人のことをそれでも好きな自分が、恨めしかった。

絵に自信はあるし、私も私の夢が大事だったけれど、雄大に言われるなら仕方ない、と自分を慰めた。彼氏が欲しかったし、寄り添って一緒に眠れる存在が欲しかった。

雄大の夢が叶えば、自分が医者かみの恋人になれるとか、彼の言う経済的基盤あその恩恵あそに与えられるかもしれないといった考えは、ほとんどなかった。夢の存在を彼自身の存在がいつしか追い越したと言え、少しは聞こえがいいだろうか。

学生時代のべったりとくっついた二年間は、そういう時間だった。「好き」というのはそういう、<sup>(6)</sup>魔物の感情だった。

(辻村深月「芹葉大学の夢と殺人」『鍵のない夢を見る』より)

問一 傍線部(ア)・(イ)・(ウ)のカタカナは漢字でどう書くか。解答例にならない、それぞれ①～⑩の中から正しい組み合わせとなる漢字を二つ選び、同一解答欄にその番号を両方ともマークしなさい。

(ア)

(イ)

(ウ)

(解答例) トクテイ

- ① 得
- ② 徳
- ③ 特
- ④ 匿
- ⑤ 督
- ⑥ 帝
- ⑦ 定
- ⑧ 底
- ⑨ 訂
- ⑩ 呈

答 ③ ⑦

(ア) シンコウ

- ① 心
- ② 親
- ③ 深
- ④ 信
- ⑤ 神
- ⑥ 交
- ⑦ 幸
- ⑧ 仰
- ⑨ 功
- ⑩ 后

(イ) イホウ

- ① 威
- ② 委
- ③ 移
- ④ 異
- ⑤ 違
- ⑥ 方
- ⑦ 邦
- ⑧ 放
- ⑨ 法
- ⑩ 豊

(ウ) トウコウ

- ① 当
- ② 答
- ③ 登
- ④ 到
- ⑤ 投
- ⑥ 講
- ⑦ 降
- ⑧ 稿
- ⑨ 行
- ⑩ 巧



問二 傍線部(a)・(b)の本文中の意味として最も適切なものを、それぞれ①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

(a)

(b)

(a) 曇りのない

① 悪気のない

② 不満のない

③ おごりのない

④ 他意のない

⑤ 下心のない

(b) たかが知れてる

① 選択の幅がない

② 給料が決まっている

③ 大したことはない

④ 知名度が高くない

⑤ やれることに限りがある

問三 傍線部(1)「とらえどころのない気持ちだった」とあるが、このときの「私」の心理状態の説明として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

16

- ① 自信満々に支離滅裂な夢を語る彼を目の当たりにし、彼から心が離れていく自分を自覚しつつもすぐには受け止めることができずに困惑している状態
- ② 彼の表情から感じる印象と語られた夢から感じる印象の差に驚き、親しみを持つことができた彼に急に得体のしれなさを感じて不安になっている状態
- ③ まるで海中や空中をさまよっているかのように頼りない彼の夢の構想を聞き、脈絡のなさや非現実性を受け入れることができずに失望している状態
- ④ 身近に感じることでできたと思った矢先に突拍子もない将来を思い描いていたことを知り、彼をどう理解すれば良いのかわからずに戸惑っている状態

問四 傍線部(2)「バカみたいに大きい」と語った夢が、本当にバカみたいだなんてひどい」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

17

- ① 共有することを楽しみにしていた雄大の夢は期待外れで、あまりにも荒唐無稽だったということ
- ② きっと一緒に歩めると思いこんでいた将来であったが、共に歩むことは想定されていなかったということ
- ③ 子供が妄想するような壮大な夢を、いい年をした雄大が今も真剣に叶えようとしていたということ
- ④ どんなに斬新な内容の夢かと楽しみにしていたのに、予想に反して陳腐な内容で幻滅したということ

問五 傍線部(3)「自分の夢を軽んじられたような気がして」とあるが、それはなぜか。その理由として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

18

- ① 絵本を描くことを数ある夢を実現するための単なるステップの一つとして、彼が捉えているようだったから
- ② 「だって」、「なってさえいれば」、「ことも」などの言い回しに、彼の無関心さとなげやりの態度を感じたから
- ③ 自分が目指している夢は生活が保証されたうえでの余技にすぎないようなことだと、彼が考えているように感じたから
- ④ たとえ自分の夢が叶ったとしてもそれだけでは経済的に成り立っていかないと、彼が考えていることがわかったから

問六 傍線部(4)「未玖みたいのがいいと思うかもしれない」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

19

- ① 彼のように内容の良し悪しで作品を評価する人ばかりではなく、作者の努力や姿勢を評価する人もいるかもしれないということ
- ② 彼の求める水準はあまりに高すぎるが、人によって評価基準は様々だから、この作品でも世に出して良いかもしれないということ
- ③ 彼にとっては文章に許すことができない欠点があったとしても、多くの人が絵に関しては高い評価をするかもしれないということ
- ④ 彼からすれば特に優れたところがなく未熟さを感じる文章であっても、凡人にはむしろそれが好まれるかもしれないということ

問七 傍線部(5)「彼の言う世の中は、平凡とか俗物であるとか、そういう種類の「世の中」だ」とあるが、彼は自分と世の中をどのように考えているか。その説明として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

20

- ① 誰にでも遠慮なくものを言う資格が自分にはあるが、世の中の人たちは他人の顔色を伺わないと生きていけないと考えている。
- ② 自分が他の人たちとは異なる特別な存在である一方で、世の中の人たちは取り柄のないありふれた人ばかりだと考えている。
- ③ 表現の質を的確に判断できる自分とは異なり、世の中の人たちは表現の質などにはこだわらず作品を受容していると考えている。
- ④ 自分には夢をかなえる資質があるが、世の中の人たちは夢に向かって頑張る人を応援するしかない凡庸な人たちだと考えている。

問八 傍線部(6)「魔物の感情」とあるが、それはどのような感情か。その説明として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

21

- ① 好きと言いつつも実は利己的な理由でお互いを必要としているのにも関わらず、その関係を愛だと信じ込ませてしまうような感情
- ② 自分の夢を追い続けることが大切だと頭ではわかっているが、それを阻害する恋人との関係を何よりも優先してしまうような感情
- ③ 彼に嫌気が差しても一緒にいることを選んでしまう私に取りついてはいる、理性とは異なる判断をさせ続けてしまうような感情
- ④ 夢を追う人の恋人という魅力的な関係に固執し、彼の性格や無計画な未来から感じる不安には目をそらしてしまうような感情

問九 本文の内容と一致するものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

22

- ① どこまでもすれ違う会話から、彼が無邪気に追い続ける夢の実現を信じていることができず苛立ちを感じているのに、それでも彼のバカな部分を愛おしく思い必死についていこうとしてしまう私の複雑な思いが描かれている。
- ② かみ合わず気持ちが通じることがない会話から、夢という一点で繋がっていた彼との距離が徐々に開いていることは明らかなのに、それでも彼に認められるために夢を実現させようとせずにはいられない私の葛藤が描かれている。
- ③ 相手の気持ちを考えず一方的に話す言葉から、彼の独善的な態度と肥大した自我に問題がありそうなことは伺えるのに、それでも彼にこだわることで自分を保とうとしてしまう私なりの愛情が描かれている。
- ④ 私の疑問に対する彼のずれた返答から、自己認識が甘く現実に向き合うことがない彼の性格や、彼が無自覚に私をないがしろにしていることはわかるのに、それでも恋人であることをやめない私の心情が描かれている。

Ⅲ 以下のそれぞれの設問に答えなさい。

問一 次の①～⑩の語句の中で、傍線部に漢数字を使わないものを二つ選び、同一解答欄にその番号を両方ともマークしなさい。

23

- ① はつ方美人
- ② し面楚歌
- ③ ご臓ろつ腑
- ④ しち転ばつ倒
- ⑤ きゆう死に一生
- ⑥ ご盤の目
- ⑦ いっ石に鳥
- ⑧ 地さん地消
- ⑨ に兔を追うもの
- ⑩ さん寒し温

問二 次の(1)～(3)の四字熟語の空欄は漢字でどう書くか。解答例にならない、それぞれ①～⑩の中から正しい組み合わせとなるように漢字を二つずつ選び、同一解答欄にその番号を両方ともマークしなさい。

(1)

(2)

(3)

(解答例)   之石

- ① 他
- ② 田
- ③ 多
- ④ 太
- ⑤ 汰
- ⑥ 山
- ⑦ 残
- ⑧ 算
- ⑨ 酸
- ⑩ 産

答 ① ⑥

(1) 波乱

- ① 番
- ② 盤
- ③ 万
- ④ 晩
- ⑤ 坂
- ⑥ 情
- ⑦ 丈
- ⑧ 状
- ⑨ 城
- ⑩ 条

(2) 傍若

- ① 部
- ② 武
- ③ 分
- ④ 歩
- ⑤ 無
- ⑥ 神
- ⑦ 陣
- ⑧ 仁
- ⑨ 人
- ⑩ 甚

(3) 免許

- ① 回
- ② 階
- ③ 皆
- ④ 解
- ⑤ 貝
- ⑥ 佃
- ⑦ 田
- ⑧ 電
- ⑨ 殿
- ⑩ 伝

問三 次の(1)～(3)の慣用句の意味として最も適切なものを、それぞれ①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

(1)

(2)

(3)

(1) 開いた口が塞がらない

① 立腹しすぎて言葉がでない

② 笑いがとまらず言葉がでない

③ 驚きあきれて言葉がでない

④ 感動が大きく言葉がでない

⑤ 悲しみが大きく言葉がでない

(2) 顎で使う

① あいまいな態度で人を使う

② やさしい態度で人を使う

③ 残忍な態度で人を使う

④ 高慢な態度で人を使う

⑤ 厳格な態度で人を使う



(3) 味を占める

- ① うまい話があったならば、他に分けて一人で味わってしまう
- ② 味わったおいしさを忘れられず、そのことで頭がいっぱいになる
- ③ すぐれた調味料が味を一変させるように、周囲に影響を与える
- ④ 有名店のすぐれた料理長のように、料理の評価を一身に集める
- ⑤ 一度味わったおいしい思いが忘れられず、次にもそれを期待する

問四 次の(1)～(3)に挙げた語句(a)～(d)のいずれの空欄にも入らない漢字を、それぞれ①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

(1)

(2)

(3)

(1)			
(d)	(c)	(b)	(a)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
の耳に念仏	の手も借りたい	の嫁入り	穴に入らずんば <input type="checkbox"/> 子を得ず

- ① 猿
- ② 猫
- ③ 狐
- ④ 馬
- ⑤ 虎

- (3)
- |     | (d)                      | (c)                      | (b)   | (a)                      |
|-----|--------------------------|--------------------------|---|--------------------------|
| ① 馬 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 窮鼠 <small>きゅうそ</small>                        | <input type="checkbox"/> |
|     | の尾を踏む                    | が合う                      | <input type="checkbox"/> を噛む <small>か</small> | につままれる                   |
| ② 鹿 |                          |                          |   |                          |
| ③ 狐 |                          |                          |   |                          |
| ④ 虎 |                          |                          |   |                          |
| ⑤ 猫 |                          |                          |   |                          |

- (2)
- |     | (d)                      | (c)                      | (b)                      | (a)                      |
|-----|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ① 猫 | <input type="checkbox"/> | 虎の威を借る                   | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|     | に小判                      | に真珠                      | 子にも衣装                    |                          |
| ② 馬 |                          | <input type="checkbox"/> |                          |                          |
| ③ 熊 |                          |                          |                          |                          |
| ④ 豚 |                          |                          |                          |                          |
| ⑤ 狐 |                          |                          |                          |                          |